

2 予算案のポイント

(1)基本方針

「しあわせ信州創造プラン 3.0」とその実行計画である「第4期長野県食と農業農村振興計画」の目標達成に向けた取組を着実に推進します。

(2)重点事項

政策の柱1 持続可能で安定した暮らしを守る

環境にやさしい農業など持続可能な農業の展開

- 温室効果ガスの削減につながる技術の実証・普及を行うとともに、有機農業に係る新たな認証制度の検討・試行、J-クレジット制度の周知・実践など、ゼロカーボンの実現に資する取組を進めます。

安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

- 激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、排水機場の改修や防災重点農業用ため池の耐震化など、県土強靱化を重点的に進めます。
- 生産性の向上や担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地の区画拡大や畑地化、中山間地域の用水管理の省力化等の農業生産基盤整備を進めます。

政策の柱2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 地域の話合いにより将来の担い手や農地利用の姿を明確化する「地域計画」に基づく取組や更なる充実に向けた調査・分析を行い、担い手への農地集積・集約化を進めます。
- 新規就農促進に向けた、農業のイメージアップを図る取組や、1日農業バイトアプリの利用及び農福連携の取組拡大を支援するほか、雇用拡大を進める農業法人に向けた人材確保のための研修会の実施により、多様な担い手の確保と人材育成を促進します。

稼げる農業の展開と信州農畜産物の持続的な生産

- 現地推進チームによるりんご高密度植栽培等の導入促進やぶどう「クイーンルージュ®」のプレコンクールを実施するほか、もも産地の若返りを促進するための取組により、果樹生産力の強化を図ります。
- 農畜産物の総合供給産地としての役割を果たしていくため、温暖化に対応した技術の開発・普及を進めるとともに、安定生産やコスト削減に向けた取組を支援し、生産基盤の強化を図ります。
- スマート農業による生産性の向上や省力化を図るため、スマート農業技術を活用し作業を受託する農業支援サービス事業者や農業デジタル人材の育成を進めます。

県産農畜産物の販路開拓・拡大と食の地産地消の推進

- ぶどう、コメ、花きを重点品目として、香港やアメリカ等をターゲットに、輸入事業者の招へいや現地での販売促進活動、SNSを活用した産地のPR活動の展開など、県産農畜産物の輸出拡大を戦略的に進めます。
- 地域内での県産農畜産物の利用促進を図るため、幼稚園等での食育活動や有機給食の実施、消費者理解の醸成に向けた広報活動などの取組を進めます。

政策の柱3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 農ある暮らし推進に向けたアドバイザーや地域サポーターによる相談活動等の実施、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進、中山間地域における集落の自律的かつ継続的な農業生産活動等の支援などにより、農村の魅力維持、活性化を図ります。